

1/30

(金)

～『豊肥線の夢』を語る～

「豊肥線の近代化遺産」キックオフ・シンポジウムを開催

熊本学園大学産業経営研究所豊肥線研究グループは、令和10（2028）年に豊肥本線が開通100周年を迎えることから、図書出版弦書房が発行している書籍「近代化遺産シリーズ」において、これまで未着手であった大分県地域も含め、豊肥本線に焦点を当てた書籍の刊行をめざしています。

本シンポジウムは、その取り組みの出発点となるキックオフとして位置づけるもので、研究者や関係者に加え、一般参加者を交え、「豊肥線の夢」をテーマに、豊肥線がこれまで果たしてきた役割や、その近代化遺産としての価値、今後の可能性について意見を交わします。

今後の研究および成果のとりまとめに向けた第一歩となる本シンポジウムを、ぜひご取材くださいますようご案内申し上げます。

取材ご希望の方は下記 URL（もしくはQRコード）よりお申し込みください

<「豊肥線の近代化遺産」キックオフ・シンポジウム>

- 日 時：2026（令和8）年1月30日（金）14:30～17:00
- 会 場：熊本学園大学 産業資料館
- 参加費：無料
- 定 員：会場60名／オンライン100名（事前申込制）
- 主 催：熊本学園大学産業経営研究所 豊肥線研究グループ・熊本産業遺産研究会（豊肥線研究班）
- 後 援：NPO法人熊本まちなみトラスト ほか

【プログラム】

時間	内容	担当	概要
14:30～14:40	開会挨拶	市原 猛志（熊本学園大学 商学部 准教授）	研究趣旨およびシンポジウムの目的説明
14:40～15:10	基調講演①	藤原 恵洋（九州大学名誉教授）	百年にわたる豊肥線の歴史と全体像を俯瞰
15:20～15:50	基調講演②	山田 哲也（大分鉄道ファン倶楽部副会長）	地域資源としての鉄道遺産の活用可能性を提示
16:00～16:50	キックオフ・シンポジウム	市原 猛志 佐伯 治（中川久定記念基金理事兼事務局長） 安部 和城（熊本県 阿蘇草原再生・世界遺産推進課 学芸員） 幸田 亮一（熊本学園大学シニア客員教授）	今後の研究展開と地域連携の方向性を議論

【シンポジウムについてのお問い合わせ】

熊本学園大学 産業経営研究所（市原 猛志）

E-mail： ta-ichihara@kumagaku.ac.jp

【本リリースについてのお問合せ】

熊本学園大学 広報室

TEL：096-364-8722（直通） E-Mail： koho-kgu@kumagaku.ac.jp

取材申込フォーム

<https://www.kumagaku.ac.jp/application>

『豊肥線の近代化遺産』

キックオフシンポジウム



会期：令和8（2026）年1月30日（金）14:30～17:00

会場：熊本学園大学産業資料館

（熊本市中央区大江二丁目5-1 熊本学園大学構内）

参加費：無料（遠隔配信：先着希望者100名まで）

主催：熊本学園大学産業経営研究所豊肥線研究グループ・

熊本産業遺産研究会（豊肥線研究班）

後援：NPO法人熊本まちなみトラスト ほか

問合せ先：熊本学園大学産業経営研究所

『豊肥線の近代化遺産』研究グループ事務局

（市原：ta-ichihara@kumagaku.ac.jp）